

# 2021 年度「共育塾」参加型福祉リーダー講座実施要項

## 1) 基本コンセプト

- (1) 多様な運動グループのメンバーが集い、お互いを知り共に学び合い意見交換することで、共育と連携のきっかけづくりにつなげます。
- (2) 参加型福祉を実践している講師や専門家だけではなく、地域で課題解決に向けて支援活動を実践している方を講義に招き、ワークショップやフィールドワークを行いながら、活動を共有し、気づきを深め、実践につなぐリーダーを増やしていきます。
- (3) 参加型福祉の理念や実践を踏まえ、新型コロナウイルス禍における生活の変化から子供に生じた影響を学び、課題を共有し参加型で私たちにできることを考えていきます。

## 2) 2021 年度の特徴点 テーマ「コロナ禍における子どもの生きづらさを考える」

新型コロナウイルスは各所に影響を与えましたが、とりわけ子供たちは休校、マスク着用、友人との遊びの制限など、運動不足やうつ症状といった心身の発達に大きな影響がありました。親が失業したり、リモートワークになったことにより、貧困の増加や虐待を含んだ家庭環境の変化も大きな問題となっています。

- (1) 参加型福祉の理念と実践を踏まえ、私たちを取り巻く社会状況や課題をトータルに学びます。
- (2) 研究センターでは、毎年生活クラブ運動グループ福祉事業実績を取りまとめています。報告書を活用して参加型福祉の実態や課題の共有を進めます。
- (3) 子どもたちを取り巻く状況から、問題の背景を共有することにより、「居場所・サロン」を基軸とした、参加型でできる支援を検討していきます。また、コロナ禍でもすすめられている特徴的な実践例について、現場からの報告を共有し、活動へのヒントにつなげます。

## 3) 「共育塾」参加型福祉リーダー講座実施計画

### (1) 開催時期・回数

2021 年 7 月～11 月開催、6 回連続の登録制の講座とします。

### (2) 開催場所

新横浜オルタナティブ生活館 3F「301」を基本とします。

フィールドワークは、川崎市にある「フリースペースたまり場」へ行きます。

### (3) 受講対象者・募集人員

生活クラブ運動グループおよび単体 W.Co のリーダー（次期リーダー含む）とし、各団体に年間受講登録者を募集します。募集目標は 30 名とします。

### (4) 受講料：5,000 円(会員外価格 7,500 円)

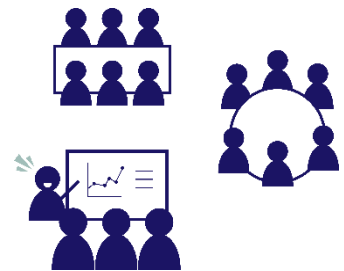
### (5) 主な内容と構成

① 主な内容：参加型福祉の理念と実践を踏まえ、市民事業と市民活動がクロスする、地域づくりの拠点である「居場所・サロン」活動を始め、市民参加の地域や生活に密着した活動にスポットを当てます。コロナ禍での子どもへの支援についてテーマを設定します。事例共有やフィールドワークを行うなどして必要な連携と活動の共有を行うとともに、検討を深めていきます。

② 構成：6 日、15 時間（6 コマの座学（13h）とフィールドワーク（2h））

午前開催（10:00～）で、1 コマ基本 2.5 時間とします。

開催には感染予防のガイドライン（別紙）をつくり、運営していきますが、状況によってオンラインでの開催となる場合があることをご了承ください。



# 2021 年度「共育塾」参加型福祉リーダー講座カリキュラム



会場：オルタナティブ生活館3F 301

	日程	時	区分 テーマ	講師・進行等	ねらい
1 日目	7 月7日 (水)	10:00 ～ 12:45	オリエンテーション 私たちと参加型福祉	参加型福祉研 究センター 共 同代表 篠崎みさ子氏	社会保障の抑制が進んで人びとの不安感が増す中 で、「参加型福祉」の活動・事業は重要性を増してい きます。「参加型福祉」の歴史から事業・活動への理解と 共感を高めます。
			講義&意見交換 参加型福祉と「居場 所・サロン」～実態を 踏まえて～	W.Co 連合会 理事長 木村満里子氏	「2019 年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績」報 告書を踏まえ、運動グループの「居場所・サロン」の実態 や概要を共有します。コロナ禍、ポストコロナの今、何故 「参加型福祉」としての居場所づくりが必要なのか、実 践を踏まえた活動を共有します。
2 日目	8 月3日 (火)	10:00 ～ 12:30	講義&質疑応答 子どもたちを取り巻く 課題と地域づくり	NPO 法人 W.Co キャンディ 上田祐子氏	コロナ禍、ポストコロナの中、子どもたちにどのようなこと が起こったのかを伺います、また、コロナ禍における子ども の人権侵害が起きている現状や、課題は何かを学びま す。
3 日目	9 月6日 (月)	10:00 ～ 12:30	共有&意見交換 実践事例からコロナ禍 における子どもの生き づらさを考える ○家族への支援を考 える	①NPO 法人ま んま 金子真澄氏 ②DV シェルタ ー・居場所の 活動を行って いる団体	①子育てが孤育てになったと言われて久しい今、コロナ で外に出られない、リモートワークになって、ますます孤立 している親子の課題、支援について共有します。 ②DV・虐待・貧困の連鎖を防いでいく活動を行って いる団体から、コロナ禍でますます広がっている問題と、支 援について伺います。 支援活動について意見交換をします。
4 日目	10 月1日 (金)	10:30 ～ 12:30	フィールドワーク フリースペースたまり場 子供たちの自由な遊 び場・活動の場で、変 わったこと、変わらない ことを知る。	フリースペース たまり場 西野博之氏	コロナ禍でも工夫し、様々な活動を続けている現場を 見るにより、子供の持つ力が発揮される場を見学 し、実際の場の雰囲気も味わいながらヒントを頂きます。
5 日目	10 月13日 (水)	10:00 ～ 12:45	共有&講義 実践事例からコロナ禍 における子どもの生き づらさを考える ○子どもへの支援を 考える	①NPO 法人 W.Co パレット 山田範子氏 ②子ども食堂 プロジェクト 永井圭子氏	①地域の子育てしやすいまちづくりを進めている、あつた らいいなの子育て支援についてパレットの活動から見 えてきた、子どもの生活、親子の姿を報告していただき ます。 ②大和市で貧困家庭に向き合い、子ども食堂を開催 している永井さんから、どのような問題意識で、どのよ うに運営しているのか、また、課題は何なのか伺います。 ・意見交換します。
6 日目	11 月2日 (火)	10:00 ～ 12:30	ワークショップ まず一歩から始めよう	参加型福祉研 究センター 共 同代表 篠崎みさ子氏 木村満里子氏	これまで学んできたことやワークショップを通じて、自分 なりに実践を進めることが出来る支援をレポートにし、発 表します。



# 新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮した研修・講座についてのガイドライン

参加型福祉研究センター

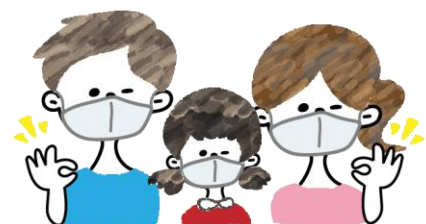
2021.05.11

## 参加型福祉研究センターで研修・講座に参加される場合、下記にご留意ください。

- ・ 企画に参加される方は、マスクを着用の上ご参加ください。
- ・ 発熱症状がある方の参加はできません（体調の悪い方の参加はご遠慮いただく場合があります）。
- ・ 参加者名簿に記入する際の筆記用具はご持参ください（使いまわしをしないため）。
- ・ 会場にはアルコール消毒を準備していますので、入室時に手指の消毒をしてください。
- ・ 参加3日前からの検温・体調管理にご留意ください。入室時に伺います。
- ・ 入室時の検温にご協力ください。
- ・ 参加者名簿を作成し、事後に発症報告があった場合の対応に備えます。発症報告があった場合、保健所等の公的機関へ名簿を提供することをご了承ください。
- ・ 会場で昼食をとる場合は対面での座席配置を避け、食事中、マスクを外しての会話は慎んでください。
- ・ 入場・受付・退場時は他の参加者客同士の距離を空けます（最低1メートル（出来るだけ2メートル））。待機列を設置する場合があります。

## 下記は、研修・講座時に事務局が気を付けていることです。

- ・ 感染防止のための参加者数の制限、もしくは大きな会場への変更を行ないます（椅子の数を減らして間隔を開ける、互い違いに着席する等）。
  - ◇ 屋内での開催は収容定員の1/2までとします。
- ・ 高頻度接触部位（机、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、キーボード、PCのマウス、タブレット、タッチパネルなど）には特に注意して消毒します。
- ・ 入室時、手指の消毒、3日の体調を伺ったうえ、検温を実施します。37.5度以上の場合、ご参加はご遠慮頂き、保健所への問い合わせをおすすめします。
- ・ 名簿に緊急連絡先を記入し、万が一感染者が出た場合は保健所等の公的機関に提供され得ることを事前に確認します。作成した名簿は当面の間、1ヶ月以上を目安に管理・保存します。
- ・ 換気を心がけます（冷房がかかっている部屋でも換気を優先します）。
- ・ 会場内の参加者同士は必要な距離（最低1メートル（出来るだけ2メートル））を保つとともに、大声での会話は慎んでもらいます。グループワークなどは、フェイスシールドの用意をします。
- ・ 講師は、マスク着用を基本とします（場合によってはフェイスシールドも着用）。
- ・ ごみの処理を行なう時はマスクや手袋を着用しビニール袋に密封します。作業後に手洗いを徹底します。
- ・ 万が一、開催中に体調不良者が発生した場合は、速やかに別室へ隔離し、対応する事務局は、マスクや手袋の着用等適切な防御対策を講じた上で対応します。



参加型福祉研究センター行き

# 「共育塾」参加型福祉リーダー講座受講申込用紙

◆申し込み〆切り:2021年6月14日(月)

◆申し込み先:参加型福祉研究センター(奥村)

e-mail:sanka-fukushi@systemken.org

会員団体名: \_\_\_\_\_ 記入者: \_\_\_\_\_

1	氏名			
	住所(自宅)	〒		
	電話(自宅)		FAX(自宅)	
	e-mail			
2	氏名			
	住所(自宅)	〒		
	電話(自宅)		FAX(自宅)	
	e-mail			
3	氏名			
	住所(自宅)	〒		
	電話(自宅)		FAX(自宅)	
	e-mail			
4	氏名			
	住所(自宅)	〒		
	電話(自宅)		FAX(自宅)	
	e-mail			
5	氏名			
	住所(自宅)	〒		
	電話(自宅)		FAX(自宅)	
	e-mail			

※記入いただいた個人情報は、参加型福祉リーダー講座の目的以外には使用しません。

<問合せ・送付先>

参加型福祉研究センター(担当:奥村)  
〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 4F 参加型システム研究所内  
Tel:045-222-8720 / Fax:045-222-8721  
e-mail:[sanka-fukushi@systemken.org](mailto:sanka-fukushi@systemken.org)